

平成21年度 県立広島大学公開講座

夏休み理科教室



講師：県立広島大学地域連携センター助教 西岡 和恵



夏休みは
理科で
まほうー！

のぞいてみよう！ いきものたちの小さな美世界

- と き：平成21年7月28日（火）
10：00～12：00
- ところ：県立広島大学
広島キャンパス
- 募 集：小学校4～6年生
10人



体験してみよう！ 光と色のふしぎ

- と き：平成21年7月31日（金）
10：00～12：00
- ところ：県立広島大学
広島キャンパス
- 募 集：小学校4～6年生
20人



【申込方法】

往復はがきの往信面に①郵便番号、②住所、③名前と学年、④ふりがな、⑤電話番号、⑥返信面の表に住所と名前を記入し、次の宛先に郵送してください。両講座ともご希望の場合は、別々のはがきでお申し込みください。

〒734-8558 広島市南区字品東1-1-71
県立広島大学地域連携センター「いきもの講座」または「光と色講座」係
Tel 082-251-9534

申込多数の場合は抽選とさせていただきます。どちらの講座とも7月17日（金）を締切とし、締切日以降に返信はがきで結果をお知らせします。なお、保護者の方の見学（定員外）も受け付けています。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

7月28日（火）

のぞいてみよう！ いきものたちの小さな美世界

むしめがね(倍率5~6倍)で身近なものをのぞいたことがありますか。たとえば紙幣に書かれた線。ただの線だと思っていた部分が、じつは小さい文字の列だったりします。このように、道具を使えば肉眼ではわからなかったり、見えなかったものが見えてきます。

この教室では顕微鏡(倍率30~100倍)を使って昆虫や植物のミクロの世界をのぞいてみます。

つぎに、みなさんが学校で使っている顕微鏡のような光とレンズを使って見るのではなく、電子を使って見るといへん大きな装置の走査型電子顕微鏡で昆虫や植物の表面を見てもらいます。

さてどんな世界が広がっているのでしょうか？

- 【内容】
- (1) 光学顕微鏡でアリ、チョウなどの昆虫の目、脚、羽、ユリ、松やグミの葉などの植物の気孔、日用品を観察します。
 - (2) 走査電子顕微鏡で昆虫の目、脚、羽、植物の気孔、髪の毛、日用品を観察し、写真を撮ります。

7月31日（金）

体験してみよう！ 光と色のふしぎ

なぜ空は青いのでしょうか。雨上がりの空にどうして虹ができるのでしょうか。あざやかな夕日や夕焼けに感激したことはありませんか。じつはすべて光がいろいろな光にわかれて生じる現象です。

この教室では簡単な道具を使って白色光（太陽光）をいろいろな色の光に分けたり(分光、虹)、いろいろな色の光を重ね合わせて白色光をつくったり、夕焼け空をつくるなど、光について体験し、理解を深めます。

- 【内容】
- (1) 光による不思議な現象をみよう
 - (2) 虹をつくってみよう
 - (3) 光を重ねてみよう
 - (4) 簡単な分光器をつくろう
 - (5) 夕焼け空をつくってみよう